

乳がんについて

2月4日の患者交流会では、谷川寛自外科系診療部長より「乳がんについて」講演がありました。一部だけ紹介します。

乳がんの特徴は、日本では年間約75000人の新規患者の方がみえ、罹患数のピークは40歳代後半です。女性では部位別がん罹患数の第1位、死亡数では第5位となっています。乳房のしこりの自覚で発見されることが最も多く、検診で発見されるのは20～30%です。予後は良好です。また、乳がんの危険因子としては以下のことが挙げられます。食生活の欧米化（高カロリー・高脂肪食）、生殖年齢が長い（早い初経、遅い閉経）、出産歴がない（ホルモン受容体陽性乳がん）、授乳経験がない、初産年齢30歳以上、40歳以上、閉経後肥満（標準体重＋20%以上）、血縁者に乳がん・卵巣がん罹患者がいる人。

乳がんの発症の増加因子は、肥満、アルコール多飲、糖尿病、喫煙です。大豆イソフラボンは発生率低下となりますが、サプリメントや健康食品摂取は発症リスク低下なりません。

その他、診断、治療と多岐にわたる内容でした。

講師からのメッセージは、「増えている乳がんのことをもっと知ってもらいたい。他人事ではなく自分のことと思ってほしい。乳がん検診を受けてもらいたい」です。

患者サロンクローバー イベント予定



「患者交流会」5月8日（月）13:30～15:00

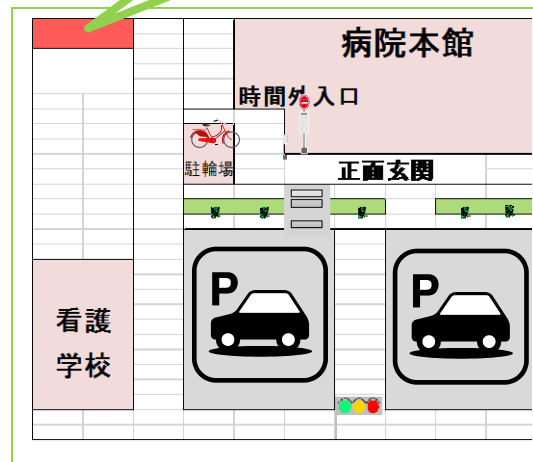
講演：肺がんについて

講師：呼吸器内科医師 内藤雅大

「アロマハンドトリートメント」4月17日（月）10:30～12:00

「気功でリラックス」4月19日（水）13:30～14:30

患者サロンクローバーはこちら



がん相談支援センター

がんに関連しての悩み、不安、疑問等を相談できます。当院にかかっていない方も可能、費用は無料です。

相談日：月曜日から金曜日
（祝日、年末年始除く）
時間：9時から17時まで
予約優先。電話も可
場所：1階①入院受付
カウンター左隣